



T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

東京六本木ロータリークラブ



『ロータリーは分かちあいの心』

～Rotary Shares～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2008年2月25日

No. 25

『一歩一歩進もう』

～Let's Move Forward Step by Step～
東京六本木ロータリークラブ会長

W E E K L Y R E P O R T



平成20年2月4日

卓話 『Small but Excellent を目指して』

アートコーポレーション株式会社 代表取締役社長

寺田 千代乃様



皆さんこんにちは。アートコーポレーションの寺田でございます。会社の紹介からさせていただきます。アートってどんな会社ってよく言われます。人にDNAがあるように企業にもDNAがあるという意味で5つの理念があります。

一つは夢を共有する強く楽しい会社。そして暮らし方を提案する企業。私どものC Iでもあります「ザ0123」のブランドイメージを全社で高める。それからCSとES、お客様満足と従業員満足を経営の基軸に置こう。最後に顧客、従業員、株主、取引先との共存を図っていきましょうというものです。

私どもは引越しを中心にしながら暮らし方を提案しようということで、輸入車の販売とメンテナンス。国内物流事業。住宅関連事業とか物販。ライフサポートという家の片づけ、お掃除。それと子育て支援といったような暮らしのグループを作って運営しております。76年に創業したときは引越しサービスという事業分野はなかったんです。運輸省もこれは事業として成立しないということで、なかなか許可が降りませんでした。ですからこの引越し取り扱いというのは当社が第1号になると思います。

会社が全国的な組織になる起爆剤になったものが3つあります。1つは0123という電話番号、2つ目はアート引越センターという名前です。

32年前、電話帳には引越しサービスという分野はありませんでした。ただ掲載の順位がアイウエオ順で、カタカナのアという会社が一番早い。それでアートという社名にして、引越しという商品名をつけてアート引越センター。運送の一番前に広告が載りました。3つ目は運送という分野で初めてテレビを使ってダイレクトにお茶の間に飛び込んだことです。「奥様荷造りご無用」「殺虫サービス」など、32年途切れることなく新しいサービスメニューを開発してまいりました。今の引越しサービスのスタンダードは殆ど当社

で作ったものです。

私はスモールバットエクセレント、強い会社を作ろうとっています。アートは規模は小さいけれど財務はなかなか手ごわいとか、広報はなかなかやるなというふうに強くあって欲しい。従業員が自分の今の仕事に満足できないとお客様に喜んでいただけるサービスは提供できません。そういった意味で、私は従業員がこの会社でがんばってよかったと思えるようにしたい。それは待遇やお給料だけではない。自分たちの仕事を通してお客様が満足し社会の役に立っている。社会から評価される会社にしていこうと皆がそのつもりでやっています。

私どもにも従業員の質、量共に拡大していかなくゃいけないという課題があります。特に今、労働力が足りない中で、女性の労働力は重要です。私自身が子育てをしながら仕事をしておりましたので、働きながら子育てをする女性をサポートしたいと、保育事業を一昨年、自前で立ち上げました。今106の園を運営しています。女性が安心して働ける、ただ時間から時間のお預かりじゃなくて急なお熱でも、その世話もきちっとできるケアリストさんの派遣もやっと軌道に乗るようになりました。

私どもはサービス業ですから、どんなにいい技術革新があっても人から外せない仕事です。そういった意味で常に何かイノベーションを起こせないかなということで、必ずしっかりと高い目標を掲げてその元に進んでいく。そしてがんばった人が報われる処遇をする。これからも暮らし方を提案する企業グループとして、社会のお役に立ちながら事業を進めて行きたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

